組合員10,000名をめざして
出資金一世帯５万円が目標

組合員数　5,014名
出資金総額　169,173,000円
（１人平均出資金額33,740円）

医療生協だより 1月

隔月発行：編集――広報委員会

北多摩中央医療生活協同組合
〒184-0004 東京都小金井市本町1-15-9 3階
TEL.042（382）9112／FAX.042（382）9107
ホームページアドレス
http：//www.kitatama.coop/

第７次中期構想 ２年目の年は 大きく飛躍の年へ

理事長新春インタビュー「幸せを追求すると、医療生協活動につながる」

「地域から選ばれる存在になる」と決意した第７次中期構想の２年目を迎えた２０２３年、君塚理事長に前年の振り返りと今年の展望について語っていただきました（聞き手は機関紙編集委員の桐山理事）。

君塚理事長（左）と桐山理事

桐山理事（以下桐山）：あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

君塚理事長（以下君塚）：あけましておめでとうございます。

桐山：昨年の総代会で第７次中期構想を決定し、およそ半年間活動してきましたが、振り返ってどうでしたか？

君塚：私たちは「地域から選ばれる存在になる」と総代会で確認し、それを常に意識して活動してきました。残念ながら当法人はここ何年も赤字経営が続いています。この半年間は、特にしっかりとした経営基盤を作ることを重視し、大きな痛手も覚悟しながら進めてきました。

桐山：昨年９月以降、むさし小金井診療所の医師体制や職員体制も大きく変わり、患者さんや組合員、職員の方にも戸惑いがありましたね。

君塚：本当にご心配をおかけしましたが、法人の事業所の中でもむさし小金井診療所は「原点」ですので、何とか維持し発展させたいというのが多くの組合員の願いでもあります。そこで思い切った改革に踏み切りました。９月に竹村先生に来ていただき、池本所長、村田副所長の３人の医師体制で「先生が日替わり」という声から「いつも同じ先生に診てもらえる」という声に変化してきています。発熱外来も基本的には毎日受け入れる状況にもなってきました。是非、どなたでも「困ったことがあれば診療所へ」と、どんどんご紹介いただければと思います。

桐山：年も明け、卯年ということで大きくステップ、ジャンプしていきたいと思います。今年の北多摩中央医療生協の展望についてお話しください。

君塚：真価が問われる年だと思います。事業活動と組合員活動を統一的にとらえ、相乗効果のある活動を展開できればよいかなあと思っています。具体的には、現在、私どもの組合員数は約５、０００人ですが、その内、日常的に何らかの活動に参加している組合員さんは実数として１割弱程度です。事業所の利用にしても、むさし小金井診療所で７割弱、みなみうら生協診療所は６割程度です。北多摩中央医療生協の組合員になったら「元気が出た」「健康になった」という状況を地域でもっとすすめていきたいと思います。組合員活動が、班活動が、居場所づくりが、健康度との関わりで有効であると実証されています。それには、地域でもっと多くの「班」を作り、毎日どこかの地域で「健康チェック」が行なわれ、「居場所」に人が集まり、「孤立・孤独」を作らない、そして何かあったら診療所や介護事業所に気軽に相談しに行ける状況を作っていきたいと思います。それが定着することで私たちが第７次中期構想で掲げたテーマ「選ばれる医療・介護、活発な医療福祉生協活動で、小さな医療生協が地域で必要とされる大きな存在になる」の実践に繋がると思います。

桐山：武蔵野支部や調布支部のみなさんも地域での組合員交流や学習会などの活動を大切に展開してくださっています。コロナ禍でのＰＣＲ検査の拡充や保健所設置の要請、補聴器補助金の要請行動、三鷹、小金井ではこども食堂や、フードドライブ、おたすけ隊など、それぞれの地域での活動は全体を励ますものになりました。

君塚：それこそ比類ない、医療生協ならではの地域に根付いた活動で、「地域から選ばれる存在」になれる魅力も充分にあります。誇りの持てるところですね。私は常々「長寿と繁栄、そして幸せになること」が人生のテーマであると考えています。地域まるごと「幸せ」をどこまでも追及して、元気で長生きできる社会を目指し、大いに仲間を増やしていきましょう。

桐山：さて、今年の経営改善にむけてはどのように考えているのでしょうか。

君塚：やはり、今年も厳しい状況は続きます。当法人だけではなく全国的にも小さな診療所・事業所は深刻です。それをどのように跳ねのけることができるか知恵を出していかなければなりません。昨年後半からむさし小金井診療所と本部の大改革を行い、今年はその効果が出てくると思います。２０２４年には医療と介護の診療報酬の同時改定を控えていますが、もうすでに厚労省の介護給付分科会では介護保険制度の改悪案で利用料の２割負担や、介護１・２の総合事業への移行などが議論されてます。これが実施されると通所介護事業はひとたまりもありません。何としても改悪を許さない取り組みを今年一年間の重要課題として位置付けていきたいと思います。お金に余裕がなくても、事業所のＩＣＴ化や、機器設備の投資も必要です。皆さんで決定した方針に従って確実に進んでいきたいと思います。お力添えをお願いいたします。

桐山：私たち理事も精一杯頑張ります。ありがとうございました。

「戦争をする国づくり」のための軍拡の増税に反対し、
医療、介護など社会保障に税金を使うことを求めます。

2022年12月21日
北多摩中央医療生活協同組合　常務理事会

岸田政権は16日に日本を「戦争する国」に進める安保３文書を閣議決定しました。
戦後一貫して、憲法の精神にのっとった「専守防衛」を基本方針として、他国を攻撃できる兵器の保有は「憲法の趣旨とするところではない」としてきた自らの政府見解を否定するもので絶対に許すことができません。しかも、米軍がはじめた戦争に日本が武力攻撃を受けていないにもかかわらず、自衛隊が相手国に敵基地攻撃が出来るようになり、米国の戦争に巻き込まれることになります。

この「文書」に防衛費を27年度に現在の国内総生産（ＧＤＰ）の２％にすることを明示しました。防衛費を23年度～27年度の５年間で総額43兆円程度にする異常な増額です。この財源確保のために、法人税、復興特別所得税、たばこ税を活用する方針です。とりわけ、「復興特別所得税」は東日本大震災で甚大な被害を被り、国民全体で被災地や被災者が一日も早く、正常の生活や生業を取り戻すために使われる税金だから国民も納得して納めています。今だに、３万人以上が避難し、復興はまだ道半ばです。復興特別所得税を目的以外の軍事に使うことは絶対に許すことは出来ません。

アベノミクスの失敗により「貧困格差」が広がり、新型コロナ感染症の影響や円安による物価高騰で私たちの生活は一層、厳しさが増しています。それに拍車をかけるように、2024年度から後期高齢者医療保険料の値上げや医療保険制度と介護保険制度の同時改定でさらなる改悪が進められようとしています。

今こそ、「軍事費を削って、医療や福祉、生活に回せ」の運動を強めていきましょう。

のがわ

コロナ禍での３度目の新春にまずお互いの健康を祈りたい。昨年４月から年金支給額を０・４％削り、10月から後期高齢者のうち３７０万人の医療費窓口負担１割を２割に倍増させた岸田内閣は、物価高騰とコロナ感染拡大に無為無策のまま、今年も介護保険料の引き上げ給付を削減し、さらに後期高齢者の医療保険料の大幅引き上げを狙っている。これらは、昨年末に岸田首相が、防衛費倍増指示（11月30日）、５年間で43兆円の防衛予算指示（12月５日）、年１兆円の防衛増税指示（12月８日）を連発し、経産省審議会が原発の新増設・建て替え・再稼働・運転期間60年への延長指針（８日）を掲げたことと軌を一にする。ロシア・北朝鮮・中国・台湾の動きを「安全保障の危機」と騒ぎ立て、「軍事費倍増・敵基地攻撃・基地拡充・原発推進・９条改憲」を強引に世論に押し付ける。いのちと健康、暮らしと医療・介護・社会保障を守る医療生協の運動がいよいよ大切になっている。（鈴）

医療生協の支部は地域の健康の守り手

～支部の卯年の組合員さんと支部長さんの2023年の抱負から～

小金井市

70歳を過ぎて思うこと

小金井・前原支部　若松 幸恵

昨年自転車で転倒し、足を骨折し入院生活を送りました。車に乗せてもらっている時、自転車の人って我道なのね…と話していた自分を見返す２ヶ月でした。心と体は反比例、判断力・瞬発力はかなり衰えていると実態感でした。担当医から「まだお若いから一年後位にボルト撤去手術をしましょう」と言われ、「お若い」の言葉に反応する自分を笑いながら、しっかりおばあちゃんですよ…と言い聞かせる私です。「心のケア」はお散歩で、「体のケア」は診療所で、70歳、80歳、まだまだ元気でいましょう。

私の初夢

小金井・公園支部
北村 佳代子

政府の打ち出した大軍拡方針。財源の増税は医療介護の改悪につながると、全国の生協と生協組合員が一斉に立ち上がりました。
津々浦々で「いのちと暮らし・平和を守ろう」の声が響き、虹の旗がひらめいています。

コロナも吹き飛ばし元気な支部に

小金井・北支部 北澤 京子

11月30日、理事から月間最終日の連絡を受け、身内から当たることに決めた。頭に浮かんだのは“皆で勝利する”という言葉。駄目もとで以前「介護になったら入る」と言ってた人に声をかけた途端、「午後に千円持っていきます」の声に驚き。一つ山を越えると次の課題が見えてきた。課題には結果がつきもの、コロナもあらゆる暗雲も吹き飛ばし、兎年にあやかり、元気な支部になるように皆でジャンプ。

病床を・医師や看護師を増やしてください

小金井･中央支部　沼田 よし子

保健所を戻してください。診療報酬を引き上げて下さい。消費税・医療保険料・介護保険料等々を引き下げて下さい。人を殺すだけの兵器は全部買わないでください。国民の命・暮らし・健康を守る政治をして下さい。
職場で働いている時から定年になってからも国会請願行動に参加してきましたが全部改悪されてきました。私達の願いが届く政治に変えたいです。まだまだ小さな努力を続けます。

今年の抱負

小金井・東支部 前支部長
若木 稜江（96）

今年の抱負と言っても、毎年年頭に何かを思うわけでもありませんが、今のところ健康上の心配もなく暮らしていけているのは、有難いことだと思っています。歩けるうちは近所に杖を突きながらも運動がてら出かけていますが、歩けなくなれば医療生協に往診を頼むことになるのかも。医療生協の先生なら安心して家に入ってもらえますね。三度のごはんも食べられて元々くよくよと考える質ではないので、まあ「何とかなるさ」と気楽にしているのが長生きの秘訣ですかね。今年もよろしくお願いいたします。

のがわ介護相談

阿部 由紀子

年女の阿部です。まさかこんな年齢になるとは、思いもしませんでした。2023年も健康に気を付け、元気に自転車で走り回りたいと思います。気軽に声をかけてくださいね！

三鷹市

三鷹・井の頭支部　支部長
蟻坂 静夫

コロナに負けずに頑張りたい。組合員が顔を会わせて元気になれる企画をやっていきたい。健康づくりの学習会、楽しい映画会、地域を巡るウオーキング、そんな１年にしたいです。

下連雀支部　川柳班会

どうかした　政権党には　ニンジン菜
そばだてて　与党のたくらみ　跳ね飛ばす
小澤　百合子

初詣　願う祈りは身の安全
初健診　笑顔のマスクに黙礼し
斉藤　優

軍事費増　民に真理の歳の暮
斗光　なほこ

三鷹・西支部
遠藤 千代子

今年こそコロナを乗り越えて安心できる日々を取り戻し、組合員さんとの交流を通して健康に過ごせるように祈ります。

牟礼北野支部　君塚 繁　84才 うさぎ年

みなみうら診療所で認知症検査をして、その後投薬治療を受けて再検査をしたところ、進行が止まるだけではなく数値が上向いて来ました。
うさぎ年の本年はさらに飛躍したいです。

調布市

健康で、長生き

調布支部長　小沢 宏作

本年も宜しくお願いします。
３年に及ぶ、コロナ禍で大変な生活をされている事と思います。昨年の秋から後期高齢者窓口負担が２倍化されてしまいました。そして、来年の介護保険制度改悪に向け、利用料負担の２～３割の負担対象者の拡大、要介護１、２の保険料給付の縮小、保険料の引き上げをねらっています。利用控えを招き、状態悪化に繋がります。反対の声を上げていきましょう。組合員の結びつきを強め「健康で長生き」頑張っていきましょう。

武蔵野市

武蔵野支部　支部長
小川　正

今年の武蔵野支部の重点は、班会を軸に、つながり、居場所づくり、健康づくりの推進。また、行政への要望活動、そして助け隊活動の強化です。特に行政の要望活動は、他団体とも共同し、保健所や補聴器助成実現をめざします。また、核兵器廃絶など平和の取り組みも強化します。７次中期構想の２年目。仲間増やしと増資の課題達成をしつつ、くらしと健康を守り、地域で安心して暮らせるよう、武蔵野支部として、昨年以上の飛躍をつくりたいと考えています。

84歳、誰のこと

武蔵野支部
倉光 祥子

自分のことでした。80代まで生きるなんて若いころには想像していなかった。今年は高尾山には１回歩いて登ったけど、まだ登りたい気持ちは十分にある。毎日、自転車がないと生活できない、でも娘は「雨の日と夜には絶対乗るな」と言う。何回も自転車でこけた身には致し方ない。
自分の健康は自分で守るしかない。そのために医療生協のヨガ班があり、ウォーキング班があるのではないか！
今年も人に迷惑をかけないよう、食事は自分で作り、出来ることは自分でして、自転車も健康に乗りこなしていきたい。それが切実な今年の私の願いである。

「まず診る・援助する・何とかする」地域から頼りになる存在として私たちが地域の医療介護の守り手です

－５事業所から新年の抱負－

みなみうら生協診療所

ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、普段の生活も制限されることが多くありました。診療所の受診に対しても調整して頂くことがあり、ご不便をおかけして申し訳ありません。皆様にご協力頂くことにより安全な診療を続けることができております。また、来院の際には温かい言葉をかけて頂き仕事への励みにもなっています。本当にありがとうございます。

本年も職員一同力を合わせてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

重ねてのお願いになってしまいますが、臨時での受診の際には必ずお電話でご連絡下さい。宜しくお願い致します。　（師長　大澤　亜希子）

むさし小金井診療所

昨年９月から竹村医師が加わり、所長の池本医師、副所長の村田医師を中心に、充実した医師体制になりました。竹村医師は同じ医療福祉生協や民医連での経験も長く、患者さんの様々な症状に対応します。「話をよく聞いてくれる」等の声もいただき、評判も上々です。

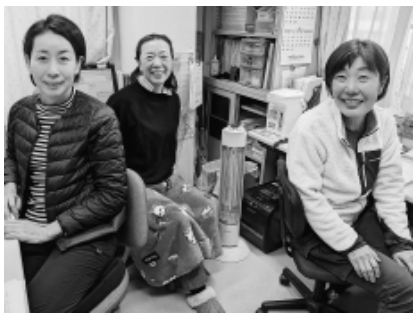
発熱患者さん、新型コロナウイルス検査への対応件数も増えています。

在宅医療でも中心的役割を担っています。この間、通院が難しくなった患者さんの在宅医療への移行も数件あり、組合員の健康を切れ目なく支えることが出来ていることは、医療福祉生協らしさが発揮できています。

発熱外来の拡大や、新型コロナワクチン接種外来の設置もその一環です。少ない職員では難しいところを、訪問看護ステーションや、介護相談室、本部、みなみうら生協診療所からも応援をもらい、法人全体の取り組みになっています。職員間、事業所間のコミュニケーションも取りやすくなったとの声が職員から出ています。

（事務長　深見　知克）

のがわ介護相談室



毎日毎日慌ただしく、日々が「わぁー！」と叫びながら通り過ぎていく感覚で、１年が過ぎます。対人援助は勢いも大事。相談を受けたらスピード感を持って動きます。ただし対象の方と向き合う時はじっくり、ゆっくりと、頭だけはフル回転。事業所を先に繋げるため、2022年はまさにそんな毎日で明け暮れた、走り続けた年でした。忙しかったなあ。「今年の抱負」は、ケアマネージメントの過程をもっとシンプルかつ丁寧なものにする事、法人内のサービスに繋げ連携をとって、私たちの「強味」を示す事、地域の活動や班会に参加して「医療生協人」として成長する事…。それが2023年の抱負です。

（室長　阿部　由起子）

デイサービスこがねい

2022年は通所介護にとって厳しい状況の連続でした。緊急事態宣言は無かったものの、新型コロナウイルスの感染拡大で、利用者を感染させてしまわないかと日々心配し、どうにか運営できた１年でした。幸い利用者様の感染はなく運営を継続できました。

2023年は卯年、飛躍の年で新しいことに挑戦するのは最適と言われます。まずは、次期介護報酬の改定の準備として、利用者ニーズへの柔軟な組入れを実施して安定した利用者数の確保に繋げていきます。具体的には、短時間利用の検討や高介護度の利用者の受入れ、入浴設備の有効利用、自費利用の拡充などです。また、プログラムも、さらに工夫して導入していきます。

（管理者　篠崎　保）

のがわ訪問看護ステーション

2022年度は市内に訪問看護事業所が増えたこと、そしてコロナ禍で市内外の介護事業所や医療機関と顔の見える関係づくりが進まなかったことなどもあり訪問件数を伸ばしていくことができませんでした。

2023年度は体制を強化していくと共に初心に戻り、むさし小金井診療所の外来や訪問診療と、のがわ介護相談室のケアプランと、デイサービスこがねいとが一丸となり、事業所の宣伝を、地域に広げ、また交流して頂けるよう取り組んで行きたいと思っています。

（所長　岩井 美香）

どうなる？？ 介護保険制度

「介護の社会化」を期待されてスタートした介護保険制度は、３年毎に制度が見直され現在２０２４年の改定に向けた議論が行われています。今回の改定の問題点や影響について考えていきたいと思います。

改定の１番目が、介護サービス利用の自己負担増です。原則１割負担でスタートしましたが、２０１５年に単身世帯で年金収が２８０万円以上の２割負担、２０１８年には単身世帯で年金収入３４４万円以上に３割負担が導入されました。次期改定では、収入基準を引き下げ２割・３割負担の対象をさらに拡大することが検討されています。年金収入２８０万円で生活する方にとって、利用料の２割負担は重いものになります。例えば要介護２の方が支給限度額いっぱい利用した場合は１割負担では約２万円の自己負担が、２割負担では４万円になります。

また、通所介護や通所リハビリテーションなど食事提供のあるサービスでは食事代もかかり、ショートステイなど施設サービスでは食事代に加えて部屋代なども必要です。

昨年の10月から75歳以上の医療費窓口負担の２割が導入されました。２割負担となる方の所得水準は同等なので重ねての負担増となります。２割負担の導入基準が引き下げられると医療や介護保険サービスは、ますます利用が困難となります。

「介護の社会化」を掲げた制度導入で、介護保険料負担を受け入れた国民の期待を裏切るものです。安心して必要な医療・介護が利用できる制度が切実に求められています。次回は介護を提供する職員の負担増となる施設の人員配置基準の引き下げについてお伝えします。

東京都生協連
会員支援部　齊藤惠子

読者の声

●八十一歳現役で働いています。毎月毎月みなみうらの先生にいい筋肉ついていますねと褒められ励みになります。また、頑張ります。

（三鷹・S）

●武蔵野子ども祭りに参加しました。35年前に我子の学童クラブで初めて参加。今年はなつかしく顔を出しました。昔と変わらず子ども達の活き活きした姿に安心しました。

（武蔵野・M）

●生協だよりをいつも楽しく読まさせていただいております。医師体制が安定してとても有難いです。医療費窓口負担の割合が二割になり、改めて厳しさを実感しています。

（府中・M）

●ボケ防止の一環で毎回挑戦しています。出来れば難易度の高い「数独」を。

（調布・Y）

●２０１０年に診療所の人間ドックで胆石が見つかり、経過観察を続け、元気に生活を続けていましたが、「元気なうちに」手術することになりました。診療所には日頃、健康管理でお世話になっています。

（小金井・H）

●先日、認知症にやさしいまち三鷹の講演会に行ってきました。39歳でアルツハイマーになった方のお話でした。認知症になると「怒りっぽくなる」と言われるが、認知症になった人から言えば怒らせていると言っていたのが印象的でした。

（三鷹・I）

●認知症の理解と予防の話、よく理解出来ました。楽しい班会にご参加ください。麻雀を楽しんでいるようなので参加させてください。

（立川・K）

本部移転

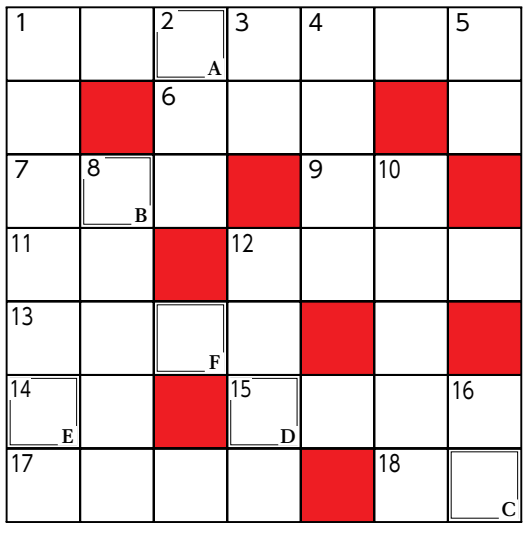
お知らせ

法人事務局は、11月６日よりむさし小金井診療所３階に移転いたしました。

事業所との距離が身近に感じられるようになりました。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

クロスワードQパズル

解き方：ＡＢＣ、、、の枠内の文字を順に並べてください



作：東京保健生協　組合員　倉持雅臣

タテのカギ

1、ウイルスなどの外敵から身を守る力のことです、免疫力とも
2、阿蘇山、浅間山、有珠山、富士山みんなこれです
3、子丑寅卯○○未
4、サツマイモを焼く方法です、熱せられた石のなかに埋めて焼き芋をつくります
5、秋田、紀州、柴、甲斐などのこと
8、フェニックスといえば…、手塚治虫の火の鳥もこれのことでしたね
10、これが燃え尽きないで地上に落ちたものが隕石です
12、学校にあります、保健室○○○○ともいったね
16、アといえば○○、阿吽の呼吸

◆たくさんのご応募ありがとうございます。答えはハガキに書いて送ってください。ひとこと本紙の感想・意見をお書き願います。正解者の中から抽選で若干名の方にクオカード（五百円）を送ります。

◇送り先
〒184－0004
東京都小金井市本町1－15－9
北多摩中央医療生活協同組合「医療生協だより」係

◇締め切り
2月7日必着

◇発表
2023年3月号

◇前回正解
『気候変動』

◇当選者（敬称略）
武蔵野市　前田伴子
府中市　村岸三代子
三鷹市　塩入千秋
三鷹市　根岸敏三

ヨコのカギ

1、世の中がおだやかで　何事もなくのんびりしていること、太平洋の由来？そんなわけないか
6、週間、月間発行の書物、漫画やタレントのうわさも記事になっている、マガジンとも
7、蘇我馬子の墓とされる石舞台○○○、卑弥呼の墓の説もある箸墓○○○
9、川で魚を取るための仕掛け「梁」なんと読む
11、ミルクといえばこの動物からのいただきものです
12、生きるはりあい、趣味にこれを見出している方も
13、スマホをはじめいろんな電気製品に使われています、以前はアルカリ乾電池だったのにね
14、代を重ねること、世世、とも書く
15、オーケストラの指揮者がこれを振ります、タクトとも
17、予約無しで飛び込んだホテル、これがあったので無事泊まれました
18、ものの中心の硬い部分です、鉛筆の○○

理事会だより

10月理事会　10月29日開催
【協議事項】
○９月期経営報告○緊急対策具体化についての進捗状況○2022年度生協強化月間取り組み○本部移転の進捗確認
【決裁事項】○定年制度及び退職金規定協定、本部移転について全員一致で可決
○秋闘要求書への回答について賛成多数で可決

11月理事会　11月26日開催
【協議事項】○10月期及び上半期経営報告○緊急対策実施後の経営及び医療活動の評価について○2022年度生協強化月間後の取り組み○上半期監事会監査報告
【決裁事項】○情報公開に関する規則の見直しについて全員一致で可決

在宅医療の相談もお受けしています　○自宅での療養を希望される方　○外来への通院が困難な方　○必要時には入院の手配や各専門機関へ紹介いたします。

むさし小金井診療所

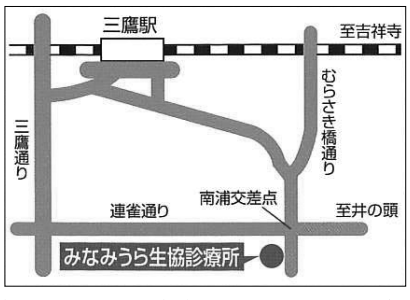
TEL 042-382-9111
小金井市本町１－15－９

		月	火	水	木	金	土
午　前 ９時～12時	外来	池本(内科・糖)	竹村（内科）	竹村（内科）	竹村（内科）	池本(内科・糖)	第1・3　服部(内科・呼) 第2　大久保(内科・リ) 第4　金子(内科)
	往診						
午　後 13時30分～ 16時30分	外来	★注意！ 外来診療は ありません	★注意！ 外来診療は ありません	★注意！ 外来診療は ありません	村田（内科）	★注意！ 外来診療は ありません	
	往診		竹村		竹村	池本	
お知らせ	※この体制は出張等で変わる場合がございます。※月、火、水、金の午後は休診です。※風邪症状のある方は、来院前に電話で連絡をいただきますようお願いします。※送迎サービス行っています。希望される方はご相談ください。※８：45分から受付を開始いたします。						

※エコー検査は予約により実施しています。※駐車場をご希望の方はお問い合わせください。※糖・糖尿病　呼・呼吸器　リ・リウマチ

みなみうら生協診療所

TEL 0422-48-4121
三鷹市下連雀７－１－27



		月	火	水	木	金	土
午　前 ９時～12時	外来	榮	榮	榮	菅原	榮 土岐（整形）	榮
	在宅				乃込		
午　後 ２時～４時	外来	榮		榮 (隔週)	菅原	榮	
	在宅		榮	榮 (隔週)		井坂	
夜　間 ５時～７時	外来				谷口		

※エコー検査は予約により実施しています。　※学会等で医師が交代する場合があります。必要に応じてご連絡ください。　※臨時で受診される時には必ず事前にお電話でご相談ください。

介護事業所案内

◆のがわ訪問看護ステーション
看護師による介護・療養相談。リハビリや医療的措置が必要な場合もご相談ください。
☎042－386－8311　Fax.042－386－8307

◆のがわ介護相談室
介護のケアプラン作成。介護に関する相談も受け付けています。
☎042－386－6330　Fax.042－386－8307

◆デイサービスこがねい
体操・レクリエーション・入浴を行います。見学などお気軽にご相談ください。
☎042－382－5519　Fax. 042－382－5519

どの医療機関の処方せんも扱います

いつでも気軽に相談できる　まちの薬局

●本町薬局
小金井市本町１の19の２　電話042(383)3515

●連雀通り薬局
三鷹市下連雀７の１の26　電話0422(70)6326

薬剤師募集